

音楽科公開セミナー（藝大生との交流会）

去る5月6日（金）に本校音楽科卒業生で東京藝術大学学生3名に来ていただき、交流会を行いました。近年、東京藝術大学を目指す生徒が増加し、早い段階から現役藝大生と交流する中で進路目標を明確にして対策していく大変良い機会となりました。前半は藝大生の素晴らしい演奏聴き、後半は大学の魅力や音楽を学ぶ環境、高校時代の過ごし方や受験対策など様々な話をしていただき、アットホームな雰囲気の中で在校生と質疑応答を通して交流を深めました。

日時：令和4年5月6日（金）13：15～15：45

場所：本校第一演奏室

出演：井森 芽子さん（東京藝術大学器楽科ピアノ専攻4年）

奥村 智喜さん（東京藝術大学声楽科2年）

山田 紬生さん（東京藝術大学声楽科2年）

内容：演奏とお話（※別紙プログラム）



♪ 生徒の感想 ♪

今日の演奏やお話を聞いて、人に驚きや感動を与えるためには、技術だけではなく、ステージに立った時の自分の見せ方も大切。また、様々な語学を学んだり仲間と交流することで音楽の世界を広げ、音楽の世界をいろいろな視点で捉え自分の演奏につなげることができると思った。しかし、自分で研

究をする大変さや考えるほど悩みが増え、自分との戦いになったり、環境の変化にも対応しなければならぬことがたくさんある。その中で限られた時間内に自分で研究したり、効率よく練習して自分の力になるように音楽と向き合うことが大切だと思った。

(1年 管楽器専攻)



とにかく感動しました。表現力はもちろん、その下にある技術も素晴らしいものがあり、見習いたいところをたくさん発見することができました。まず、井森さんはとにかく演奏が丁寧に美しくそれでいて迫力もあって最高でした。きっと曲をとことん調べつくして自分で研究を重ねて曲を作っていたことがとてもよく伝わりました。私もまず曲をとことん調べ、作曲者の背景を調べ、さらに曲を表現するためにはどう演奏したらよいのか研究し直そうと思います。奥村さんはとにかく迫力がすごくて驚きました。でも、ただ迫力があるだけでなく、繊細な部分は本当に発音を丁寧にするなど工夫して表現していて見習いたいと思いました。口の形も本当によく変わっていて私は小さくまとまってしまう癖があるので、今日の練習から意識したいです。山田さんは表現力がすごかったです。お客さんの方を向いた瞬間に人が変わったようにスイッチをいれていて凄いと思いました。顔の表情だけでこんなにも心に刺さるものなのだと勉強になりました。歌っているとつい自分が歌う部分、歌詞がある部分だけ捉えて曲を見がちでしたが、伴奏（前奏、間奏）も含めて曲なのだと気づかされました。先輩方のお話を聞いて、やはり皆さん芯がしっかりしているなと感じました。「先生がこうしろと言うからこうする」ではないんだと思いました。知識を自分で掴みに行くという言葉がとても胸に刺さりました。そして、ソルフェージュと英単語を今のうちからしっかり自分のものにしたいです。とにかく、先を見据え、今を考えて行動したいです。

(2年声楽専攻)

先輩方の演奏は、とても丁寧で素敵な曲ばかりでした。ベッリーニの「3つのアリエッタ」は知っている曲でした。声がか強いのに優しく、歌がスッと入ってきました。また、先輩が後からお話しされていた、立ち姿や足を長く見せる意識も高いからか、すごくきれいで大人っぽくて、見入ってしまいました。本当に全てが美しかったです。「Sogno」は2年生の時に伴奏してから大好きになった曲です。最初から最後まで流れていく感じが心地よかったです。「グラナダ」はあまり聴いたことのないスペイン歌曲でした。前奏からフラメンコのようなイメージができて、スペインらしくてか強く、カッコよかったです。ピアノの井森先輩は、ソロと伴奏合わせて1時間程ずっと弾いていたけど、全然ミスがないし、集中力がずっと続いているし、圧倒されっぱなしでした。一音一音が落ち着いていて、丁寧で、表現も細かくて、でも流れていて、うわぁ…という状態になっていました。私もたくさん練習して、曲と向き合って、よく分析して、先輩のような演奏ができるようになりたいです。

大学生活やひとり暮らしのことなども詳しく教えていただきました。「柴田先生の和声は本当に神です」と聞いて、今まで以上にしっかり授業を受けようと思いました。どの授業の内容を聞いてもとても難しそうで、自分が大学に入った時についていけるのか不安になりました。今高校でやっている勉強が全てつながっていくのだと思うので、しっかり学んでおきたいです。受験で弾かなければならない曲は、言葉にするだけで頭がパンクしそうなほど大変そうだけど、合格して大学に入れたらもっと深く音楽のことを学べるし、手の届かないくらいレベルの高い人がたくさんいて、とても充実した生活が待っているのだなお話を聞いて思いました。

改めてこれからも音楽と生きていきたいと思ったし、努力をもっともつする必要があると思いました。

(3年ピアノ専攻)

